

ふれあい

さいせい



発行
済生会西条病院
2013年夏号 第59号
西条市朔日市269-1
TEL(0897)53-5100



いしづち苑 サマーフェスティバル 撮影：名誉院長 常光 謙輔

ごあいさつ

院長 岡田 眞一

秋篠宮殿下が 第6代済生会総裁に

名誉院長 常光 謙輔

マダニとSTFS

皮膚科 佐伯 美穂

防ごう！食中毒

栄養科長 越智 泉

いしづち苑開設20周年記念 ピアノと朗読のコンサートを開催

いしづち苑苑長 常光 謙輔

ニューフェイス

～32年ぶりの栄冠にむけて～

経理課兼経営企画室 大仲 均

～サマーフェスティバルを開催しました～

いしづち苑 介護福祉士 藤岡 隼平

ごあいさつ

院長 岡田 眞一



院長
岡田 眞一

平成25年4月1日から秋篠宮殿下が済生会の第6代総裁にご就任されました。済生会は明治44年に明治天皇の済生勅語により創立され、その後済生会の総裁は代々皇族方が就任されています。昨年6月に第5代総裁の寛仁親王殿下が薨去された後、総裁は空位となっていました。秋篠宮殿下の就任で、済生会で働く職員はみんな感激し、済生会の社会的使命について決意を新たにしています。

当院は、今年2月に西条市からユニット型個室100床の特別養護老人ホーム事業所に選定されました。計画では、病院東側に建築し平成27年2月の完成予定です。これからの介護人材確保のため、介護職員初任者研修講座（今までのホームヘルパー2級の資格）を開設予定です。多くの優秀な人材を確保して、地域に根ざしたすばらしい施設を作っていきたいと思います。

また、当院は6月9日宮窪石文化運動公園で行われた済生会中国四国ソフトボール大会で優勝しました。レベルの高い中四国大会での優勝は嬉しいことです。全国大会は11月10日埼玉県川口病院主催で行われます。今年の当院のチームは期待できます。まだ少し先のことですが、みなさん応援をお願い致します。



秋篠宮殿下が第6代済生会総裁に

名誉院長 常光 謙輔

昨年6月6日に第5代済生会総裁 寛人親王殿下が薨去されてから済生会総裁が空席になっていましたが、この4月1日付で秋篠宮文仁親王殿下が第6代の済生会総裁に就任されました。戦後だけで言えば高松宮殿下、高松宮妃殿下、寛人親王殿下に次いで第4代目の総裁になられたこととなります。

秋篠宮殿下は昭和40年11月30日のお生まれですが、皇位継承第2位の重要なご身分でもあり、他にも山階鳥類研究所総裁、日本動物園水族館協会総裁、御寺泉湧寺を守る会総裁などのほか6つの団体の名誉総裁をなさっていらっしゃるの、果たして済生会の総裁をお引き受け下さるかどうかが私達は危ぶんでいました。しかし、済生会の総裁をお引き受け頂いたということで、これに勝る喜びはありません。

秋篠宮殿下は幼名を礼宮と言われていましたが、幼いころからやんちゃで色々な動物(特になまず)がお好きだったようです。学習院時代の紀子さまとのデートコースは新大久保のなまず専門店だったと言われています。動物の研究者としても有名で平成8年には「鶏の起源と家禽化について」の論文で皇族としては初めて理学博士の学位を受けられています。

私も高松宮殿下、高松宮妃殿下、寛人殿下とお三方の総裁には親しくお声をかけて頂いたことがありますが、秋篠宮さまにはまだお会いしたことはありません。済生会総会などでお会いできるかも知れないと楽しみにしております。



マダニとSTFS(重症熱性血小板減少症候群)



皮膚科
佐伯 美穂

最近、マダニが媒介する「殺人ウイルス」の話がテレビを騒がせるようになりました。

マダニとは、ダニの仲間で、特に、ヒトや動物にかみついてそこにくつき、血を吸い続ける大型のダニのことです。大きいものでは1cmほどになります。ほ乳類の二酸化炭素の臭いや体温などを感知すると、草や葉の上から飛び降りかみつきます。マダニの口器(あご)はハサミのような形をしていて、皮膚に切れ目を入れ血を吸います。そして、セメントのような物質で口器と皮膚をくっつけるなどして、長いものでは2週間も吸血を続けます。

もしマダニにかまれたら、そのままにして皮膚科外来を受診してください。皮膚ごと取るようになりますが、健康にはかえられません。

マダニはヒトや動物に悪影響を与える病原体を持つ



ていることがあります。いろいろな種類の病気をもたらしませんが、最近

話題になっているのがSTFS(重症熱性血小板減少症候群)です。これは、2009年に中国で発見されたウイルスによる病気です。マダニにかまれてから6-14日経って、38℃以上の発熱とともに、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、下血などが起こります。重くなると、死亡することもあります。致死率は最近では6%程度といわれています。ワクチンはありませんが、はやく治療を始めれば回復しやすくなると考えられています。

マダニにかまれたら、早めに医療機関を受診してくださいね。



防ごう！食中毒 予防の三原則

栄養科長 越智 泉

1. 食中毒菌をつけない(清潔・消毒)

- ・石鹸で丁寧に手を洗いましょう。
- ・調理器具は、清潔に保管して、まな板・包丁は、食材別に分けて使いましょう。
- ・食材は、食品別に分けて保管しましょう。



2. 食中毒菌をふやさない(迅速・冷却)

- ・調理後は、すぐに食べて余った物は冷蔵庫で保管してなるべく早く食べましょう。
- ・冷蔵庫は、10℃以下、冷凍室は、-15℃以下にしましょう。

3. 食中毒菌をやっつける(加熱)

- ・中心温度が、75℃以上で1分間以上(ノロウイルス対策は、85℃以上1分間以上)、加熱しましょう。
- ・温め直す時は、沸騰するまで加熱して、電子レンジは、加熱ムラのないようにかき混ぜましょう。

以上のことに気をつけて食中毒を防ぎましょう！



いしづち苑開設20周年記念 ピアノと朗読のコンサートを開催

いしづち苑苑長 常光 謙輔



いしづち苑が平成5年6月に開設されちょうど20周年を迎えるということで、その記念行事としてピアノと朗読のコンサートを行うことになりました。

今年の年始早々に期日は平成25年6月29日(土)と決め、会場は西条市総合文化会館の大ホールを押さえました。ピアノにはショパンの演奏家として名高い遠藤郁子先生を、朗読にはNHKの歴史秘話ヒストリアの朗読で有名な渡邊あゆみアナウンサーをお招きしました。入場料は1,000円に押さえてできるだけ大勢の人にきて頂けるように配慮しました。そしてその売上金は東北の大震災の被害に対する義捐金として寄付することにしました。

遠藤先生は21歳の時第7回ショパンコンクールで特別銀賞を受賞されたのを始め第11回ショパンコンクールの招待演奏者になられたり、第14回ショパンコンクールの審査員もなされたすごい方であり、病院の50周年記念コンサートにもおいで頂いております。

居宅介護支援事業所の伊丹陽子管理者が放送を担当し、18時20分から私の挨拶、ついで来賓の青野勝西条市長の祝辞がありいよいよ18時30分からコンサートが始まりました。

渡邊アナウンサーの自己紹介、遠藤先生の挨拶のあと遠藤先生が東北大震災の被害者への祈りを込めてベートーベンのピアノソナタ「月光」を演奏されました。通奏低音のような祈りの音が低く静かに、時に高く激しく会場内に流れました。

万雷の拍手のあと、渡邊アナウンサーの朗読に従ってノクターン作品9-2から順々に曲目が進んで行き、4曲目にノクターン遺作嬰ハ短調(戦場のピアニストの主題曲)が演奏されました。

この曲を聴くと私はいつも泣けて泣けて涙が溢れて

どうしようもなくなるのですが、後で聞いた話では泣いた人がかなりいたようです。エチュード作品10から「別れの曲」などのあと第一部の最後にエチュード作品10から「革命」を弾かれたときにはその迫力に魂が激しく揺さぶられるほど感動しました。

15分間の休憩のあと、第二部はワルツ変ホ長調作品18「華麗なる大円舞曲」で始まり、「雨だれ」、「幻想ポロネーズ」などを演奏されました。どの曲も凄い迫力で我々に迫ってくる感じがしました。

演奏終了後拍手は鳴り止みませんでした。アンコールでは曲の演奏はなく、茨城県からおいでになっていた朗読文の作者・酒井邦子さんを壇上でご紹介して演奏会は終了となりました。

こうしていしづち苑開設20周年のピアノと朗読のコンサートは大成功のうちに終了することができました。駐車場の整理係りや会場の整理・接待係りを勤めてくださった職員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

私達はともすれば日々衰えて行く高齢者を前にして無力感を感じたり、モチベーションが下がったりしがちですが、これからも私達はいしづち苑が地域になくってはならない施設として発展するように頑張つてゆく覚悟です。



追記

演奏会の売上金につきましては遠藤先生も支援しておられる「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト(細川護熙理事長)」に寄付することに致しました。これは先の大津波で三陸沿岸の松の木は全滅したのに対し、元々地元にあったタブの木やシロカシ・ナラなどの木は津波に枯れることなく防潮堤の役割をはたしていたことに鑑み三陸沿岸300kmにわたって4000万本のそれらの苗木を植えようという壮大な計画です。

我々が生きている時代には完成しませんが、100年後・200年後には立派な緑の防潮堤が完成しているものと思います。その一助になれば幸いです。

～32年ぶりの栄冠にむけて～

経理課兼経営企画室 大仲 均

6月9日、今治市宮窪石文化運動公園で済生会中・四国ブロック親善ソフトボール大会が行われました。当院は5年前に全国大会へ進出して以来すべてこの予選で敗退しています。

ただ全国へ行きたいという想いと練習量はどこの病院にも負けておらず、過去試合で負けても心の折れた部員はなく、「来年こそは」という想いで練習にも励んできました。今年は経験者4名加入し、前メンバーと合わせて総勢25名まで部員が増えました。ユニホームも新調し、中四国大会に臨みました。

くじ運もよく2試合目からの出場でしたが、初戦の

対戦相手は王者「今治病院」でした。前年度優勝、地元開催とあって、完全にアウェイ状態での試合でしたが、5年間の想いと練習

成果が投打に表れ、終わってみれば8対0の快勝でした。決勝は、松山病院でした。松山病院はここ最近力をつけてきたチームであり、厳しい試合となりました。両チームともピッチャーが疲れてきており、点の取り合いの試合となりましたが、最後はベンチ、スタンドからの熱い声援により僅差で勝利することができました。最後のアウト取った瞬間、部員の目からは涙がこぼれていました。5度の悔し涙を今年はいしづち涙に変えることができました。

朝早くから応援に来てくださった職員の方、また病院で残って応援して下さった職員の方、ありがとうございました。全国大会では、中四国大会で破れたチームの想いも背負って、32年前に先輩方が成し遂げた全国大会優勝を目指したいと思います。



～サマーフェスティバルを開催しました～

済生会西条老人保健施設いしづち苑
介護福祉士 藤岡 隼平

さる7月27日、地域の福祉活動に貢献することを目的に、いしづち苑でサマーフェスティバルを開催しました。



伝統芸能の獅子舞

オープニングで大保木獅子舞保存会による獅子舞が披露され、続いて祭彩華による「多彩な、よさこい踊りのパフォーマンス」、最後にダンツアローザによる「華麗な、ダンスパフォーマンス」が披露され、地域の皆様の熱気

を肌で感じることができ、出演を依頼して本当に良かったと思いました。

そして今回は地域のイベントだけでなく、キッズコーナーでのヨーヨー釣りやスタンプラリー、いしづち苑職員によるネタがばればれのマジックショーなど、子供たちが楽しめる企画を多く用意した結果、どのブースも子供たちの歓声が響いていました。

また、屋台のメニューも充実しており、鳥の唐揚げやたこ焼き、焼きそば、その他にもたくさんのメニューを取り



多彩なよさこい

そろえ、子供から大人の皆様に喜んでいただきました。

そんな中で、西条病院から社会福祉課の職員が参加し済生会の根幹事業である、「無料低額診療事業」の広報活動をいしづち苑の職員と一緒にするなど、西条病院といしづち苑の一体感を感じることが出来ました。

このサマーフェスティバルは、いしづち苑が地域に向けて初めて取り組んだ行事で、地域の皆様のご協力やいしづち苑の職員全員が一致団結することで、何とか成功することが出来ました。

サマーフェスティバルは、来年、再来年と継続していきますので、回を重ねるごとに地域に根差したイベントになればと思いました。来年は是非足を運んでみてください。



華麗なダンス



ネタがばればれのマジックショー



ヨーヨー釣り



メニュー豊富な屋台



社会福祉課職員による無料低額診療PR活動